



## プレスリリース

平成 29 年 8 月 4 日

独立行政法人国立科学博物館

### 企画展「水草展～まもろう！野生の水草～」のご案内

国立科学博物館筑波実験植物園(園長 樋口 正信)では、来る 8 月 11 日(金・祝)から 8 月 20 日(日)まで、企画展「水草展～まもろう！野生の水草～」を開催いたします。

今回の企画展では、水草が野生で生きる姿に注目し、臨場感あふれる展示を通じて、自然の中で生きる水草の美しさと不思議について展示します。さらに、絶滅危惧種の水草と、野外に広がる外来の水草を紹介し、日本の水草が危機的な状況にあることを紹介します。

人気企画のアクアリウムをつくるコーナー、美しい水草水槽の展示、食虫水草にミジンコをあげて観察するコーナー、海草&水草タッチプールなどに加え、野生の水草自生地からのライブ中継型ワークショップ、来場者みんなで作り上げる水草水槽など、新しい企画も用意しております。

つきましては、展示のオープンに先立ちまして、

**8月10日(木)午後1時30分～2時30分の間、プレス内覧会を実施**いたします。

是非、この機会にご参加いただき、記事の掲載など広報に関して特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

プレス内覧会への参加をご希望の方は、下欄の問合せ先にご一報のうえ、筑波地区研究管理棟 1 階 玄関ホールにお越しください。

#### 本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館

経営管理部研究推進・管理課研究活動広報担当：稲葉 祐一

担当研究員：田中 法生(植物研究部 多様性解析・保全グループ 研究主幹)

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL:029-853-8984 FAX:029-853-8998

E-mail: t-shuzai@kahaku.go.jp

国立科学博物館HP <http://www.kahaku.go.jp/>

国立科学博物館筑波実験植物園HP <http://www.tbg.kahaku.go.jp/>

水草展HP <http://www.tbg.kahaku.go.jp/event/2017/08mizukusa/index.html>

水草展ブログ <http://www.tbg.kahaku.go.jp/event/2017/08mizukusa/blog.php>

## 企画展「水草展～まもろう！野生の水草～」実施要項

- 1. 目的** 野生の水草の生育の様子やその美しさを体感的に展示することにより、水草の生態や進化の不思議、そして保全の重要性を伝えます。
- 2. 名称** 企画展「水草展～まもろう！野生の水草～」
- 3. 主催** 国立科学博物館筑波実験植物園
- 4. 協力** (有)エイチ・ツー、(株)エムピージェー、東京コミュニケーションアート専門学校、アクア環境システム TOJO、アクア TAKE-E、アクアデザインミリアデレクト、アクアフォレスト、アクアモードインフィニティ、寒川水族館、UWS ENTERTAINMENT、ビオグラフィカ、佐々木浩之、NPO 法人アクアキャンプ、水草保全ネットワーク、ゆかい、タナカカツキ
- 5. 会期** 平成 29 年 8 月 11 日(金・祝)から 8 月 20 日(日)までの 10 日間  
※期間中休園日なし  
開園時間 9 時～17 時(入園は 16 時 30 分まで)
- 6. 場所** 筑波実験植物園教育棟、研修展示館（1 階、2 階）、研修展示館前芝地

### 7. 展示構成

#### 第 1 会場 教育棟

- ① プロによる水草レイアウト水槽の展示（水槽 20 台程度）  
日本を代表するプロの水草レイアウトの作品を展示します。
- ② みんなでつくる水草水槽：来園者に少しずつ水草を植えてもらい、大きな水草水槽を作製する。
- ③ ワークショップ「自分だけのアクアリウムを作ろう」  
好きな容器と水草を選んで自分だけのアクアリウムを作製するワークショップ。  
日時：期間中毎日開催 10 時-12 時／13 時-16 時 制作時間は 30 分程度  
場所：教育棟  
内容：容器を選んで好きな水草を植えてオリジナルのアクアリウムを作成する。  
席数：8～10 席  
事前予約：不要（混雑時のみ、その場で時間予約制にする。）  
参加費（材料費）：300 円～（選ぶ容器により価格が変わる）  
協力：(有)エイチ・ツー、東京コミュニケーションアート専門学校

#### 第 2 会場 研修展示館 1 階

- ① 見る！知る！探す！野生の水草  
水草の多くは絶滅の危機に瀕しています。「保全の第一歩は知ることから」をテーマに、野生の水草の魅力や、野外で水草を観察する方法を紹介します。
  - ・野外で水草を見つける方法：湧水、湖沼、水田、干潟、熱帯の海の水草の展示など
  - ・野外で水草を観察するポイント：水中で行う光合成、水草の葉の不思議、水草の受粉などについて、生きた水草とパネル、映像で解説。

- ・水草を採集し、生かす：プロの研究者たちの技や秘密の道具を公開。水草の調査の様子  
の映像など。
- ② プロのレイアウトが作る野生の水草水槽の展示  
野生の水草の魅力を、プロのレイアウトはどう表現するのか？研究者とともに行った  
野外調査を題材につくる野生の水草水槽。
- ③ 「食虫植物タヌキモにミジンコを食べさせよう」観察コーナー  
食虫植物タヌキモに実際にミジンコを食べさせる体験コーナー。吸い込む瞬間を観察  
していただきます。
- ④ ミジンコウキクサ観察コーナー  
世界最小の花「ミジンコウキクサ」を顕微鏡で観察するコーナー。植物体は約1mmで  
世界最小、花も直径0.1mmで世界最小。※開花は稀とされますが、今年はずでに開花し  
ているので観察することができます。
- ⑤ 干潟タッチプール（海の干潟に生える水草に触れるコーナー）  
海草のアマモが生える場所は、「海のゆりかご」と呼ばれるほど、たくさんの生き物  
が集まります。海の生き物とアマモに触れて、生き物のつながりを体験していただきま  
す。

### 第3会場 研修展示館2階

- ① 「絶滅危惧水草」について、水槽、写真、パネルによる解説  
絶滅危惧種の水草を20種程度展示します。特に、昨年新しい自生地が発見された幻の  
水草「ムサシモ」、伊豆諸島神津島固有の「イズノシマホシクサ」、未だ実体が不明な  
「ミカワスブタ」、はこれまでほとんど一般公開されたことのない希少な種です。野生  
絶滅種の「コシガヤホシクサ」については、これまでの野生復帰の成果と将来について  
特集展示をします。
- ② 「外来種の脅威」について、水槽、写真、パネルによる解説  
水草では、外来種の影響が特に深刻です。今回は、栽培や展示が禁止されている特定  
外来生物の「ボタンウキクサ」「オオフサモ」「オオカワヂシャ」を特別に許可を受けて  
展示し、最新の研究成果とともに、外来種の問題を紹介します。
- ③ 自生地とライブ中継「水草フィールドを体験する」 各回30分  
水草の自生地とライブ中継して、野生の水草フィールドの魅力を体感してもらいます。  
8月11日（金・祝） 11時30分～、12時30分～ 「干潟」（千葉県）  
8月13日（日） 11時～、14時～ 「湖沼」（青森県）  
8月20日（日） 11時～、13時～ 「湧水」（栃木県）
- ④ 写真展  
アマゾンで出会った野生の水草と、水草水槽の野生。2人のアーティストがつくる魅  
惑の水草写真展示  
出品：池田晶紀、タナカカツキ

### 第4会場 研修展示館前の芝地

「水草池で水草解剖」：簡易プールに水草を浮かべて、手で触れたり、解剖したりして、  
水草の構造を観察してもらいます。

## 8. 関連事業

### セミナー 植物園研究最前線「水草を守るために何が必要か？」

絶滅の危機にある水草では、植物園での栽培保全が重要ですが、方法を間違えると逆に絶滅を招くことさえあります。水草を守るために何が必要か？最新の研究から考えます。

日時：8月19日（土） 13時30分～15時

会場：研修展示館3階セミナー室

講師：植物研究部 田中法生

定員：30名 高校生以上（要事前予約 1ヶ月前から電話にて受付）

### 展示案内

日時：8月15日（火） 11時～12時

集合場所：教育棟

解説：植物研究部 田中法生、(有)エイチ・ツー 代表 早坂 誠

事前予約：不要（当日集合場所にお集まりください）

### トークショー 「水草に人生を狂わされた男たちのトーク」

水草がこんなに魅力的なら、自分も人生を狂わされてしまうかも?!異分野の3人が、水草の魅力を多角的にトークする。

日時：8月12日（土） 14時～15時30分

会場：研修展示館3階セミナー室

出演：池田正紀（写真家）、タナカカツキ（マンガ家）、田中法生（植物研究部）

事前予約：不要（当日会場にお越しください。先着50名）

## 9. 販売

水草展オリジナルグッズ、水草・栽培グッズ、カキ氷など

## 10. 来園者特典

「保存版 野生の水草探索ガイド」を来園者にプレゼント

【参考資料】

(1) 水草水槽レイアウト専門家による水草水槽展示



早坂 誠

(2) 絶滅危惧水草



幻の水草、ムジナモ

(3) 干潟タッチプール



(4) 水草池で水草解剖



(5) 自分だけのアクアリウムをつくろう

